

なぎなた
林田葉純さん

なぎなた
林田智笑さん

柏原市長
富宅正浩

柏原市議会議長
乾一

磯田 去年、初めてアジア選手権で日本代表として外国の選手と対決しましたが、外国の選手は日本の選手より体格が一回りも二回りも大きいので、今年行われる世界選手権に向けて体づくりをしています。

司会（江口） 日本代表として日の丸を背負うのは、どのような気持ちですか？

磯田 最初は重荷に感じるこ

―目標に向けて―

司会（江口） 私は高校2年生の時に、事故で左足の膝から下を切断しました。その後、ご縁があつて3年前からアーチェリーという競技を始めました。現在、柏原市役所で働きながら2020年の東京パラリンピックを目指しています。私にはこれから強化選手になることなどいろいろな目標があるのですが、磯田さんはハンドボールのU・21日本代表に選ばれているということで、目標に向けて頑張っていることや気を付けていることはありますか？

前田 チーム競技では、仲間とのコミュニケーションが一番大事だと考えています。チームの中で自分だけが良くても勝負に勝つことはできません。自分の調子が良い日もあれば悪い日もあります。でもそれはチームのメンバーも同じなので、誰かの調子が悪い時には自分がフォローし、逆に自分の調子が悪い時にはフォローしてもらっています。

―相手を思いやる―

ともありましたが、今となつては日本代表に選んでもらえたことに感謝し、チームのメンバーに迷惑をかけないように頑張らないといけないと思うようになりました。

市長 前田さんは、平成30年10月に行われた西日本学生ハンドボール選手権大会で優秀選手に選ばれたと聞きました。ハンドボールは7名で行うチーム競技ですが、チーム競技を行う上で気を付けていることや、チーム競技を行ってきたからこそ得たものはありますか？



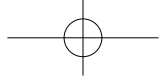
なぎなた
国民体育大会 団体 決勝戦
林田葉純さん（写真左側）



なぎなた
国民体育大会 演技競技 1回戦
林田智笑さん（写真奥右側）



ハンドボール
ジャンプシュートを決める
前田みのりさん



新春 対談

スポーツの魅力で 柏原を盛り上げる

全国、そして世界で活躍するアスリートをお招きし、
スポーツの魅力について対談を行いました。



ハンドボール
前田みのりさん

ハンドボール
磯田健太さん

アーチェリー
司会・江口舞

新

年あけましておめでとうございます。今回の新春対談は、スポーツを通して活躍されている皆さんにお集まりいただきました。市内でもお子さんからご高齢の方まで参加できるさまざまなスポーツイベントや教室があり、スポーツは人と人が繋がるきっかけになるものだと考えています。誰もが健康で元気に住めるまちづくりを進めるにあたり、スポーツに力を入れていきたいと考えていますので、本日はよろしく願います。



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、たくさんの方々が活躍されることだろうと思います。柏原市も、今日来られた皆さんのような若い方の力やスポーツの力で盛り上がっていったら大変うれしく思います。スポーツを楽しむ環境づくりには何が必要なのかを皆さんの話を聞かせてもらって少しでも反映できるように努めたいと思います。これから一緒に柏原市を盛り上げていくためにも本日はよろしく願います。



ハンドボール
アジア選手権で外国人選手と競り合う
磯田健太さん



アーチェリー
70m 先の的を狙う
江口舞

試合中の1枚

今回ご出演いただいた
皆さんの競技中の写真を
紹介します。